

作業館での活動



こんにちは、作業委員の梅原と申します。

今回はゆい敷地内にある、作業館で利用者様が実施しているペットボトルの作業の一部活動内容や、どのように困りや苦手に対して、支援しているのかを紹介させていただきます。

困ってしまう事

困りに対する支援

イメージ図

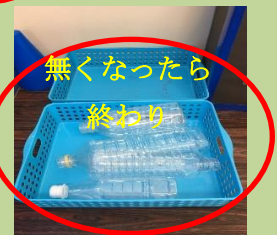
なにをしたらいいかわ
からない

パーティションで周囲に意識がいか
ず、集中できるようにしています。更
に写真で提示し、活動を照らし合わ
せて、取り組む事が出来ます。



どれくらいやったら
いかわからない

職員が事前に活動本数をカゴの中にセット
しておくことで、実施量が、明確になってわ
かりやすいです。



楽しみが無いとがんば
れない

活動したあとに、大好きなおやつがもらえる
ので、がんばれます。



終わった後、どうして
いかわからない

黄色いシンボルをもらい、居室の同様のものと
マッチングする事で、居室に戻る事が出来る
ことが出来ています。



これで、困りや苦手解決！！



上記は一例ですが、各利用者様の特性に合わせ、少しでも自立した、活動を取り組めるよう工夫しております。今後も、より活動の充実を図っていただけるように、新たな新規作業の開拓や、作業における、支援の配慮心がけていければと思います。